

## カービュー マーケットウォッチ (2013年7月)

株式会社カービュー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：兵頭 裕）は、社団法人 日本自動車販売協会連合会が公表する「月間登録台数ランキング」をもとに、日本国内における自動車マーケットの動きを独自分析する。

**乗用車全体で12.5%の2ケタ減と2カ月連続のマイナス！**  
**1～6月の上半期車名別ではプリウスが2年連続トップ**

13年 6月順位	13年 5月順位	動向	モデル名	メーカー名	台数
1	(1)	→	プリウス	トヨタ	21,809
2	(2)	→	アクア	トヨタ	20,294
3	(3)	→	フィット	ホンダ	12,189
4	(4)	→	ノート	日産	11,338
5	(7)	↑	ヴィッツ	トヨタ	7,122
6	(5)	↓	クラウン	トヨタ	6,765
7	(6)	↓	セレナ	日産	6,333
8	(8)	→	カローラ	トヨタ	6,321
9	(9)	→	フリード	ホンダ	6,159
10	(17)	↑	ステップワゴン	ホンダ	5,677
11	(10)	↓	インプレッサ	スバル	5,095
12	(11)	↓	ヴェルファイア	トヨタ	4,039
13	(20)	↑	ヴォクシー	トヨタ	3,927
14	(18)	↑	CX-5	マツダ	3,786
15	(16)	↑	スイフト	スズキ	3,606
16	(14)	↓	パッソ	トヨタ	3,532
17	(12)	↓	スペイド	トヨタ	3,450
18	(15)	↓	デミオ	マツダ	3,224
19	(22)	↑	エスティマ	トヨタ	3,202
20	(13)	↓	フォレスター	スバル	2,922

※ 社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ  
 ※ 輸入車および軽自動車を除く

## カービュー編集部独自の分析

### ■乗用車全体で12.5%の2ケタ減と2カ月連続のマイナス！

#### 1～6月の上半期車名別ではプリウスが2年連続トップ

今回は、日本自動車販売協会連合会（自販連）、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）、日本自動車輸入組合（JAIA）が発表した6月の販売データからマーケット概況をチェックしていこう。まず輸入車、軽自動車を含め、国内で販売された乗用車総数は37万8709台、前年同月比は87.5%（貨物車、バスを含む新車総販売台数は45万828台、前年同月比89.2%）と、2カ月連続で前年を下回った。

特に5ナンバーの小型乗用車が11万6805台、前年同月比22.8%減と大きく落ち込み、3ナンバーの普通乗用車は11万6371台で同11.5%減、軽乗用車も14万5533台で同2.9%減と2カ月連続の前年割れとなった。ただ東日本大震災前の10年6月と比べると、全体では0.4%増とわずかながら上回っており、軽乗用車は10年6月比30.8%増と、昨今の軽人気を象徴するデータになっている。

輸入車を除く日本メーカー製乗用車（タイ生産の日産マーチ2545台、日産ラティオ684台、三菱ミラージュ846台含む）は34万9524台で前年同月比85.9%（軽乗用車を除く3/5ナンバー乗用車のみでは20万3991台、同79.4%）。日本メーカーブランド合計ではスバルと三菱以外は前年を下回り、トヨタ、ホンダ、ダイハツは21.1%減、21.4%減、24.5%減と大きく下落した。

軽乗用車を含む月間ランキングは、「トヨタ プリウス（α含む）」が2万1809台（前年同月比23.4%減）で2カ月連続トップ。2位は「トヨタ アクア」で2万294台（同19.1%減）。以下、3位「ダイハツ ムーヴ（コンテ含む）」1万8179台（同21.4%増）、4位「ホンダ N BOX（+含む）」1万7693台（同23.4%減）、5位「スズキ ワゴンR」1万7272台（同6.6%減）、6位「日産 デイズ」1万2232台（初登場）、7位「ホンダ フィット（シャトル含む）」1万2189台（同44.8%減）、8位「ダイハツ ミラ（イース、ココア含む）」1万1954台（同44.8%減）、9位「日産 ノート」1万1338台（同164.5%増）、10位「ホンダ N-ONE」1万908台（12年10月発売）と続き、トップ10に6モデルの軽が占めた。

今年1～6月の上半期累計では、プリウス（α含む）が13万2472台で、前年同期比27.1%減ながら2年連続トップ。2位は136台差の13万2336台でアクア、以下、3位N BOX（+含む）11万8303台（同13.9%増）、4位ムーヴ（コンテ含む）11万4101台（同32.5%増）、5位ワゴンR10万4569台（同4.6%増）と、トップ5はハイブリッド車（HV）と軽が分け合う形になった。

輸入乗用車は海外メーカー製のみでも2万8835台、前年同月比114.3%（日本メーカー製を含む輸入乗用車全体では3万3260台、同113.5%）で、14カ月連続で前年を上回った。海外メーカー製ブランド別乗用車ランキングではVW（フォルクスワーゲン）が6662台、前年同月比15.8%増で6カ月連続トップ。2位メルセデス・ベンツ5734台/同30.8%増、3位BMW（ミニを除く）4867台/同4.0%増、4位アウディ2930台/同21.9%増、5位ボルボ1601台/同16.2%増と続き、V40が好調のボルボがミニを抜いてトップ5入りを果たした。

## ■ココも気になる！ その1

### アコードから始まったホンダの新車攻勢に注目

N BOX のヒットで昨年、国内 No.2 の座を日産から奪い返したホンダ。今年に入って、「N-ONE」も好調な売れ行きとなり、ホンダの軽乗用車部門は1~6月の上半期で19万5469台、前年同期比35.7%増と快調に伸びている。

その一方で苦戦しているのが3ナンバー普通車と5ナンバー小型車の登録車部門。昨年も登録車部門のみではホンダ42万3701台、日産43万7052台（マーチ、ラティオ含む）で日産に及ばなかったのだが、今年上半期ではホンダ15万5788台（前年同期比42.1%減）、日産22万9416台（同6.4%減）と、7万台強もの大差をつけられている。主力の「フィット」がモデル末期で、売れ行きがほぼ半減。「ステップワゴン」もライバルの「日産 セレナ」に1万6000台強のリードを許している状況だ。

そのホンダが6月の「アコード」のモデルチェンジから新車攻勢に打って出る。目玉は9月と言われるフィットのモデルチェンジだが、その後も「オデッセイ」、「ライフ」、フィットベースのコンパクトSUVと、11月の東京モーターショーまで立て続けにニューモデルを投入するというのだ。

先陣を切ったアコードはHV専用セダンということもあり、発売1週間で月間販売目標1000台の3倍強となる約3600台の受注を獲得。販売期間が10日ほどしかなかった6月も925台（プラグインHV含む）という実績を残した。日本では不人気のセダンながら、リッター30kmという軽並みの燃費性能はインパクト大ということだろう。

また新型フィットHVはアクアを上回る燃費を実現し、さらに自動ブレーキ機能なども搭載予定。トヨタにHVバトルを挑むとともに、新型軽の「デイズ」で反転攻勢に出た日産をも突き放そうとしている。今年上半期の新車販売でシェアが40%に迫った軽と、登録車部門で初めてシェア30%を突破したHVの両方にニューモデルを投入するホンダがNo.2の座を堅持できるか要注目だ。

## ■ココも気になる！ その2

### 今年上半期の輸入乗用車ランキングをチェック！

輸入車の販売データを集計している日本自動車輸入組合（JAIA）から、今年上半期の海外メーカー製乗用車ランキングが発表されたので、トップ10を中心に紹介しよう。

1位は「VW ゴルフ」シリーズで8395台（前年同期比64.5%／前年同期ランキング1位）、以下、2位「BMW ミニ」シリーズ8298台（同100.7%／同3位）、3位「BMW 3シリーズ」7783台（同192.6%／同7位）、4位「メルセデス・ベンツ Cクラス」7048台（同90.5%／同4位）、5位「VW アップ！」6898台（12年10月発売）、6位「VW ポロ」6592台（同74.5%／同2位）、7位「VW ザ・ビートル」5825台（12年6月発売）、8位「メルセデス・ベンツ Aクラス」4543台（13年1月発売）、9位「BMW 1シリーズ」3933台（同73.0%／同5位）、10位「メルセデス・ベンツ Eクラス」3880台（同89.8%／同6位）となった。

トップ10に4モデルをランクインさせたVWは上半期累計3万2840台、前年同期比13.6%増と上半期としては過去最高を記録。6月から販売開始となった新型ゴルフは、すでに3000台以上の受注を集めており、この勢いがしばらく続きそうだ。

また今年2月に発売された「ボルボ V40」シリーズは3766台で11位。昨年上半期6位だった「60」シリーズも2748台で15位につけ、上半期累計7286台、前年同期比11.2%増と好調なボルボに二枚看板が揃ったといえそうだ。

このところすっかり海外メーカー製ブランド別ランキングで、VW、メルセデス・ベンツ、BMWに次いで4位が定位置になったアウディは、トップ10入りモデルはないものの、「A1」シリーズが2815台で14位、「A4」シリーズが2621台で16位、「A3」シリーズが2211台で17位と堅調な売れ行きをキープ。上半期累計で海外メーカー製輸入車のシェアが8.1%と半期ベースで過去最高となっているだけに、各海外メーカー製ブランドの今年後半のニューモデルにも期待したいところだ。

上記プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カービュー 管理本部 IR 広報室（ [pr@carview.co.jp](mailto:pr@carview.co.jp) ）

TEL：03-5859-6158 FAX：03-5859-6180

---